

ヨーロッパの小さな大国 *Luxembourg* ルクセンブルク

ベルギー、オランダとともに「ベネルクス三国」のひとつに数えられるルクセンブルク。世界有数の金融市場であり「世界一裕福な国」とも賞されるが、国土は神奈川県と同じくらいしかない。そんな小さな大国ルクセンブルクの魅力に迫る！



城壁と溪谷に囲まれた旧市街を歩く

ルクセンブルクの首都は、国名と同じ名前のルクセンブルク市。標高約500mの高地にあり、世界中の銀行が集まるブルジョワタウンとしての顔を持つが、他国の金融街のような高層ビル群や大型ショッピングモールはない。街は川に囲まれた岩山の上に築かれており、城壁に囲まれた旧市街はユネスコの世界歴史遺産に登録されている。

街歩きの出発点となるルクセンブルク中央駅は旧市街の南、岩山の麓にあり、旧市街までは徒歩20分ほど。途中、自然豊かな溪谷に架かるアドルフ橋を渡る。旧市街には美しい広場や教会、邸宅などが並び、城壁沿いからは溪谷に囲まれた街を一望するすばらしい眺めが楽しめる。おもな見どころはほとんどが城壁内部の旧

市街にあり、レストランやカフェも多いので、ゆっくりと時間をとってそぞろ歩いてみたい。

旧市街の北東にはヨーロッパ国家間の国境管理をなくすシェンゲン協定に関する博物館があるヨーロッパセンターが建つ。周囲は緑に囲まれた公園になっており「ムダム」と呼ばれる現代美術館もここにある。駅からここまで歩いて、1時間ほど。1日あれば十分に歩き回れる。



旧市街からヨーロッパセンターへはガラス張りのエレベーターで

ルクセンブルク市内のおもな見どころ

旧市街に多くの見どころが集中。徒歩で簡単に見て回れるので、気軽に歩いてみるといい。治安も良好なので安心だ。



ノートルダム大聖堂

旧市街の中心、憲法広場の東にそびえる大聖堂。建造は17世紀で、ルネサンスとバロックの複合建築。地下の礼拝堂には王家の墓がある



大公宮

ルクセンブルクの大公の執務室兼迎賓館として利用されている荘厳な建物。衛兵交替式が行われるほか、夏には内部を見学するツアーも出る



ボックの砲台

断崖絶壁に作られたかつての砲台跡で、ルクセンブルクいちの絶景スポット。中には地下要塞が広がり、一般に開放されており見学可能



アドルフ橋

旧市街の南を流れるペトリュッス川に架かる、美しいアーチ橋。高さ42m、全長は153mで、橋の上から緑の溪谷を望むことができる

城壁の上と下、断崖により2つのエリアに分けられるルクセンブルク市

ルクセンブルク郊外の 小さな街を巡る

ルクセンブルク市から郊外へ。国内交通は鉄道がメインとなるが、点在する小さな村々へ行くにはローカルバスが頼りとなる。メルヘンチックな街を回ってみよう。

森に囲まれた城塞都市

ヴィアンデン *Vianen*

ルクセンブルク市の北約40kmに位置する街。街のシンボルは11~14世紀に建造されたヴィアンデン城で、内部は現在博物館として一般に公開されている。街の外れにはチェアリフトがあり、標高440mの山頂まで簡単に登ることができる。山頂展望台からはワール川に囲まれた街を見渡せる。

ACCESS

ルクセンブルク中央駅から鉄道でエテルブルックまで行き、バスに乗り換え。所要1時間~1時間30分程度。



ヴィアンデン城。内部見学には2~3時間ほど必要



川沿いをのんびり散歩してみよう



リフトで山頂まで行こう

古城と修道院が見どころ

クレルボー *Clervaux*

クレルブ川沿いの谷間に開けた街が、クレルボー。最大の見どころは白亜の壁が特徴のクレルボー城。城内で常設展示されている『The Family of Man』は、世界68カ国、273人の写真家による503枚のドキュメンタリー写真で構成。米冷戦時代にまとめられた作品で、平和への思いを伝える写真展はユネスコの「世界の記憶」プログラムに登録されている。



ACCESS

ルクセンブルク中央駅から鉄道で約1時間。

街には数軒のホテルもあり、宿泊してゆっくりすることもできる

右側の建物がクレルボー城。そばには教会と修道院が建つ



シュール川に抱かれた箱庭のような村

エッシュ・シュール・シュール

Esch-sur-Sure

ルクセンブルク市の北にあるエッシュ・シュール・シュールは「森と渓谷の国」と呼ばれるルクセンブルクを感じさせる村のひとつ。蛇行した川に抱かれるように城壁が存在し、その中に開かれた街はまるで中世の箱庭。小高い丘の上には廃墟となったエッシュ・シュール・シュール城があり、ここから周囲を眺めることができる。



規模は小さく、2時間ほどあれば回れる

森と川に囲まれている



ACCESS

ルクセンブルク中央駅から鉄道でエテルブルックまで行き、バスに乗り換え。所要1時間~1時間30分程度。

ルクセンブルクを知る Quick Facts

小さな国だけに、意外と知られていないルクセンブルク。カルチャーから基本情報まで、ルクセンブルクを知ろう。

名物料理 *Gourmet*

実はルクセンブルクは、知る人ぞ知る美食大国。街には多くのミシュラン星付きレストランがあり、その味を競っている。昔ながらの郷土料理の代表はパイ料理の「パテ・オ・リースリング」。レストランのほかカフェでも味わうことができる。



豚肉パテと名産白ワインジュレをパイで包んだパテ・オ・リースリング

多言語国家 *Multilingual*

ルクセンブルクは、隣接する国の言葉であるドイツ語、フランス語、そしてドイツ語によく似たルクセンブルク語の3つを公用語とし、英語も広く使われる多言語国家である。またイタリア語やスペイン語を話せる人も多いという。



国旗はオランダによく似ている

芸術 *Art*

現代アートの部門では世界でも屈指の美術館を持っていることで知られる。その名は「ムダム (MUDAM)」こと「Musée d' Art Moderne Grand-Duc Jean」。地元の若手作家から世界的なアーティストまで幅広い展示が見られる。



ルクセンブルク市のヨーロッパセンターにある

自然 *Nature*

ルクセンブルクには自然豊かなスポットがたくさん！郊外へと足を延ばせば自然公園が広がり、休日には多くの人ハイキングを楽しむ。なかでも最も人気があるのが「ルクセンブルクの小スイス」と呼ばれるミュラータールトレイル。



コース上には滝などもある

名物・特産 *Local products*

ルクセンブルクを代表するおみやげといえば、王室御用達のチョコレートブランド「オーバーワイス」。ルクセンブルク市にはカフェを併設した直営店があり、地元客や観光客でにぎわっている。チョコレートのほかマカロンなどもおすすめ。



世界に誇るチョコレートブランド「オーバーワイス」



マカロンはおみやげにも人気

ジェネラルインフォ of ルクセンブルク

面積:2586km²(神奈川県とほぼ同じ)
人口:約68万2000人(2025年1月)
時差:日本より8時間遅れ。サマータイム実施期間(3月最終日曜~10月最終日曜)は7時間遅れ。
ビザ:180日以内、合計90日までの滞在なら不要。
通貨:ユーロ(€)。2025年10月31日現在、€1=178.1円
物価:日本よりもかなり高い。宿泊費と外食費が特に高いので、ユースホステルを利用する価値は十分にある。1日の滞在費は最低でも2万円はみておきたい。
ベストシーズン:夏から秋。夏でも比較的過ごしやすく、秋の紅葉もとりわけ美しい。冬の寒さは非常に厳しいが、12月には街がクリスマスムードに包まれ、各地でクリスマスマーケットが開催される。

現地ユースホステル情報:
<https://youthhostels.lu/en>

より詳しい情報は
『地球の歩き方 オランダ ベルギー
ルクセンブルク編』へ▶

